

1997年7月発行

作成者： 中野 賢 (<ken-na at ascii.co.jp>) & 富樫 秀昭 (<hideak-t at ascii.co.jp>)

1 この文書について

この文書は、pL^AT_EX 2_ε<1997/02/01>+2からの更新箇所をまとめたものです。

この pL^AT_EX 2_εは、L^AT_EX<1997/06/01>版に対応しています。L^AT_EX レベルでの更新箇所は、L^AT_EX に付属の ltnews ファイルを参照してください。

2 クラスファイル

日本語クラスファイルに関して、以下の変更を加えました。

- 縦組クラスで \maketitle によるタイトルを縦組で出力するようにした。
- 横組クラスで a4j や b5j などのオプションを指定したときのトップマージンを大きくした。
- treport, tbook クラスで \thefigure コマンドが構文エラーになるのを修正した。

3 フォント・セレクション

日本語 NFSS2 における、

- 縦組時に \bfseries を使うと後続の \textgt や \gtfamily などのゴシック切り替え命令が効かない

というバグを修正するために、以下のようにしました。

- 和文エンコードの宣言を縦組用と横組用とで別のコマンドで行う

具体的には、つぎのコマンドで宣言をします。

```
\DeclareYokoKanjiEncoding
      横組用和文エンコードの宣言
\DeclareTateKanjiEncoding
```

縦組用和文エンコードの宣言

以前のバージョンからの \DeclareKanjiEncoding コマンドは横組用和文エンコード宣言コマンドと同じ動作をします。 \DeclareKanjiEncoding コマンドで縦組用和文エンコードを宣言している箇所は \DeclareTateKanjiEncoding コマンドを用いて宣言するように修正してください。

4 強調コマンドでゴシックに

従来、\emph や \em では和文フォントを切り替えることはしていませんでしたが、今回の版から強調時に \gtfamily にするようにしました。入れ子となった \emph や \em の中では \mcfamily を使います。

5 改行マクロの変更に対応

日本語 T_EX の行頭禁則処理は、禁則対象文字の直前に、\prekingsokupenalty で指定されたペナルティの値を挿入することで行なっています。一方、改行コマンドは負のペナルティ (-10,000) の値を挿入することで改行を行なっています。このため、改行コマンドの直後に禁則文字があり、その禁則ペナルティの値が 10,000 の文字のとき、改行のためのペナルティと禁則ペナルティの値が相殺されてしまい、改行されません。

あいうえお \\
! かきくけこ

そこで pL^AT_EX 2_εでは、L^AT_EX 2_εの改行マクロに \mbox{} を入れることによって、改行マクロのペナルティと行頭禁則文字のペナルティが加算されることを防いでいました。

ところが、 $\text{\LaTeX 2}_{\epsilon}$ <1996/12/01> で改行コマンドが大幅に変更されていたため、 $\text{p}\text{\LaTeX 2}_{\epsilon}$ で加えた処理が無効になっていました。今回の版で $\text{\LaTeX 2}_{\epsilon}$ の改行マクロ変更に対応しました。

また、以前の $\text{\LaTeX 2}_{\epsilon}$ の改行マクロでは、改行コマンドで $\text{\mbox{}}{\}$ が置かれていたので、

```
\verb|*****|\n
\verb|    aiueo|
```

と書いた場合も正しく処理されていましたが、 $\text{\LaTeX 2}_{\epsilon}$ <1996/12/01> 以降の改行コマンドでは $\text{\mbox{}}{\}$ が置かれないため、 \backslash の次の行の \verb の行頭の空白が無視されるという現象がおきていました。

$\text{\LaTeX 2}_{\epsilon}$ で正しく処理されるのは、 \verb コマンドの最初に $\text{\hbox{}}{\}$ を入れているからです。しかし、このボックスがあると \xkanjiskip が入らないため、 $\text{p}\text{\LaTeX 2}_{\epsilon}$ では \verb の直後に $\text{\hbox{}}{\}$ を入れないようにしています。

\verb で $\text{\hbox{}}{\}$ が入らなくても、改行コマンドによって行頭に $\text{\mbox{}}{\}$ が入る場合は、先頭の空白は空白として認識されていたのですが、 $\text{\LaTeX 2}_{\epsilon}$ の改行マクロ変更によって、行頭の $\text{\mbox{}}{\}$ が挿入されなくなったために、 \TeX が無視すべき行頭の空白と解釈される結果となっていました。今回の対応で、この問題も同時に解決されています。

6 その他の情報

最新情報は、 $\text{p}\text{\TeX}$ ホームページ

<http://www.ascii.co.jp/pb/ptex>

より、入手することができます。

$\text{p}\text{\LaTeX 2}_{\epsilon}$ についてのバグ報告やお問い合わせなどは、電子メールで

www-ptex@ascii.co.jp

までお願いします。